



Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／東京都北区感染症週報

2011年31-32週 (平成23年8月1日～平成23年8月14日)

東京都北区感染症情報センター 電話 03 (3919) 3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開をしています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j.html>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数報告感染症及び定点感染症(週報告)

I 全数報告感染症(週別)

対象疾患	2010年	2011年							累計
	累計	25週	26週	27週	28週	30週	31週	32週	
(二類感染症) 結核 (注)	124	4	3	1	4	4	2	3	76
(三類感染症) 腸管出血性大腸菌感染症	10	0	0	1	0	0	0	0	2
(三類感染症) 細菌性赤痢	4	0	0	0	0	0	0	0	0
(三類感染症) 腸チフス	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症) A型肝炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症) レジオネラ症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症) レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(五類感染症) アメーバ赤痢	1	0	0	0	0	0	1	0	1
(五類感染症) 後天性免疫不全症候群	2	0	0	0	0	0	0	0	2
(五類感染症) 梅毒	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(五類感染症) 麻しん	0	0	1	0	0	0	0	0	5
(五類感染症) 風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 結核は新規登録者数

II 直近4週間の定点感染症報告数(週報告)

対象疾患	※定点医療機関数	2011年							
		29週		30週		31週		32週	
		報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点
RSウイルス感染症	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱	7	1	0.14	1	0.14	1	0.14	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	1	0.14	0	0.00	3	0.43	0	0.00
感染性胃腸炎	7	21	3.00	15	2.14	12	1.71	5	1.00
水痘	7	2	0.29	4	0.57	4	0.57	3	0.60
手足口病	7	37	5.29	33	4.71	29	4.14	12	2.40
伝染性紅斑	7	1	0.14	2	0.29	2	0.29	1	0.20
突発性発しん	7	4	0.57	5	0.71	0	0.00	3	0.60
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	63	9.00	70	10.00	37	5.29	22	4.40
流行性耳下腺炎	7	3	0.43	2	0.29	2	0.29	1	0.20
不明発しん症 (注1)	7	2	0.29	2	0.29	0	0.00	2	0.40
川崎病 (注1)	7	1	0.14	1	0.14	0	0.00	0	0.00
インフルエンザ (注2)	11	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

Ⅲ 概況

第31週及び第32週は、夏の行楽、帰省の他、定点医療機関の休診もあり、例年、感染症の発生届出件数自体が少なくなっています。今後の発生の動向を見極める必要があります。

■全数報告感染症

結核を除く全数報告感染症の届出は、第31週にアメーバ赤痢1件。その他はなし。
結核の新規登録は第31週2件、第32週3件。

■手足口病

北区での発生は第31週4.14から第32週2.40と引き続き減少していますが、依然、終息レベル（2.00）を超える状況であり、手洗い等の衛生管理に心掛けてください。

■ヘルパンギーナ

手足口病と同様に、夏場にかけて発生が増加する感染症で、北区での発生は第30週の10.00から第31週5.29、第32週4.40と減少し、警報レベル（6.00）以下となりましたが、今後の動向を見極める必要があります。
手洗い等の予防対策に心掛けてください。

■感染性胃腸炎

第30週2.14から第31週は1.71、第32週1.00と減少しましたが、今後の動向に注意してください。
引き続き、家庭、学校及び施設等での手洗い等の感染予防対策を心掛けてください。

●感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■その他の定点報告感染症

突発性発しん、水痘、流行性耳下腺炎等の発生が認められますが、特異な発生とはなっていません。

Ⅳ 医療機関からのコメント

- （王子地区） 当院では、手足口病、ヘルパンギーナの勢いはなくなりました。
- （王子地区） 夏かぜがそこそこ流行していますが、大流行にはなっていません。

Ⅴ 注意情報・お知らせ

■感染症法施行規則の改正について

基幹定点において、インフルエンザについての入院患者のサーベイランスを行うため、省令の一部が改正されました。（北区内には基幹定点はありません。）

■感染症の症例定義、届出様式等の変更

感染症の法律が一部改正され、一部感染症の症例定義、届出様式の新設、変更がありました。

新たにに感染症に指定されたのは、「チクングニア熱」、「薬剤耐性アシネストバクター感染症」の二つです。

また、平成23年3月4日付け健感発0304第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知により「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」が一部改正され、平成23年4月1日より実施されることとなり、一部発生届及び症例定義が変更となっています。

●感染症に基づく医師等の届出について <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/069/006915.htm>

■麻しん

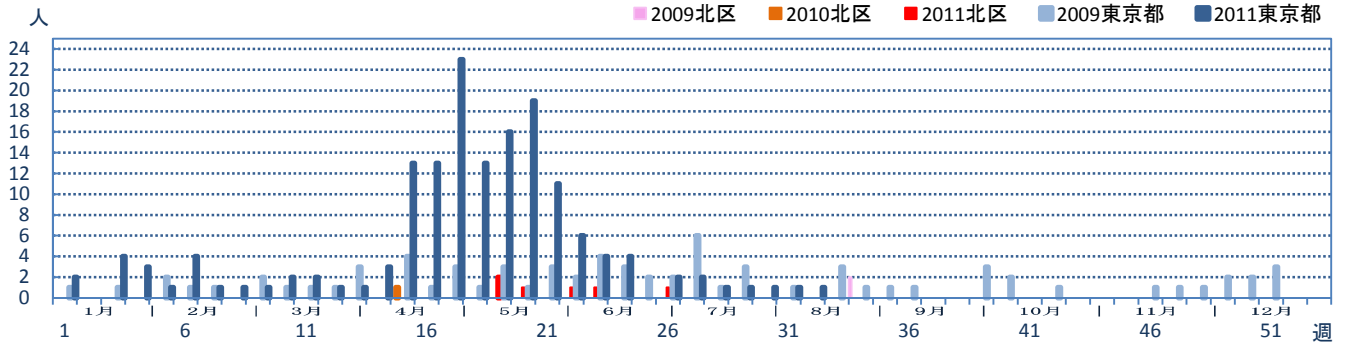
国では、麻しん排除計画を策定し、2012年までの排除達成を進めています。麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

●予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>

VI 感染症別グラフ

VI-1 全数報告感染症

■ 麻しん

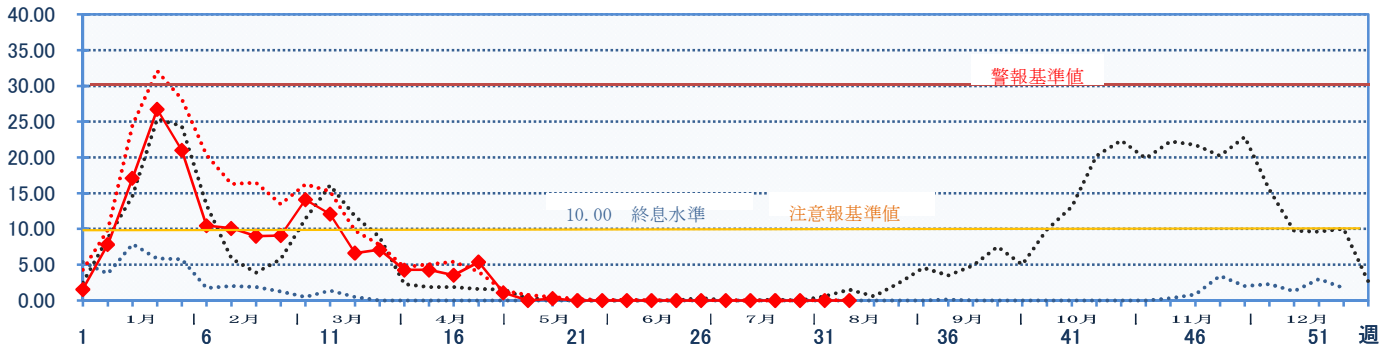


VI-2 内科定点疾患

■ インフルエンザ

定点医療機関あたり報告数

..... 2009北区 2010北区 ——— 2011北区 2011東京都

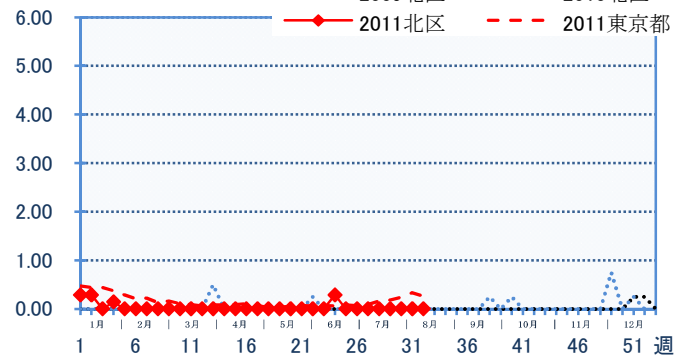


VI-3 小児科定点

■ RSウイルス感染症

定点医療機関あたり報告数

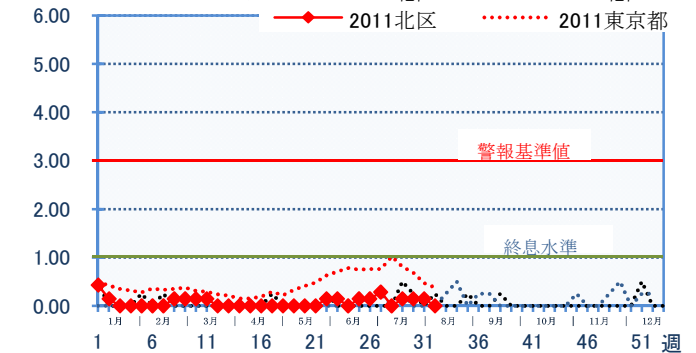
..... 2009北区 2010北区 ——— 2011北区 - - - 2011東京都



■ 咽頭結膜熱

定点医療機関あたり報告数

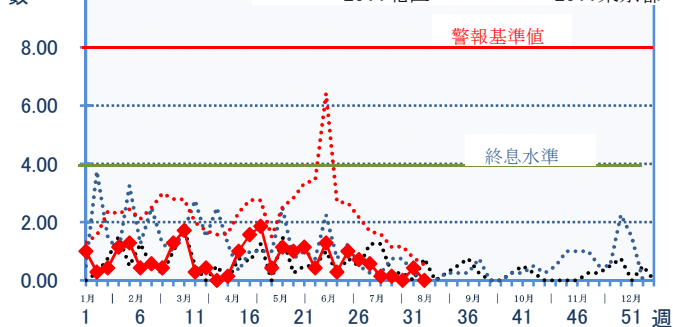
..... 2009北区 2010北区 ——— 2011北区 2011東京都



■ A群溶血性レンサ球菌

定点医療機関あたり報告数

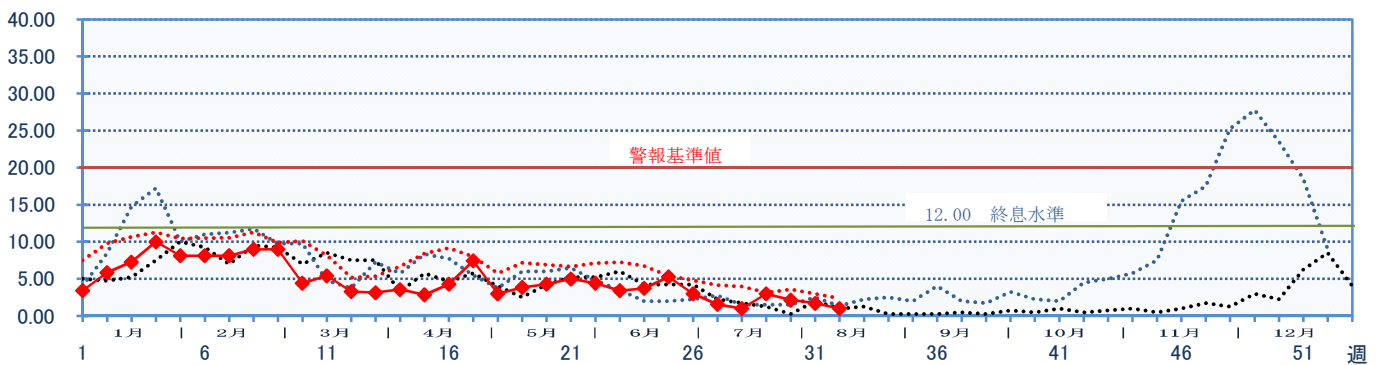
..... 2009北区 2010北区 ——— 2011北区 2011東京都



■ 感染性胃腸炎

定点医療機関あたり報告数

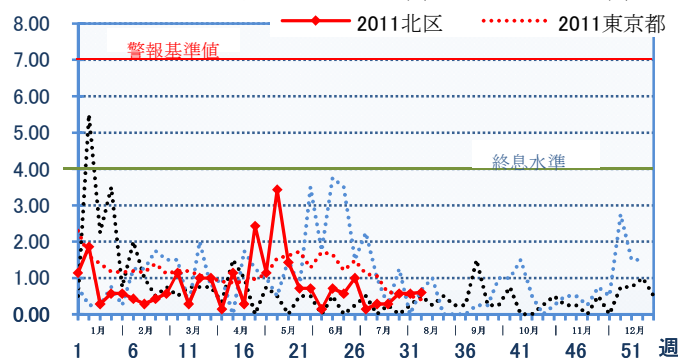
..... 北区2009 北区2010 —●— 北区2011 東京都2011



■ 水痘

定点医療機関あたり報告数

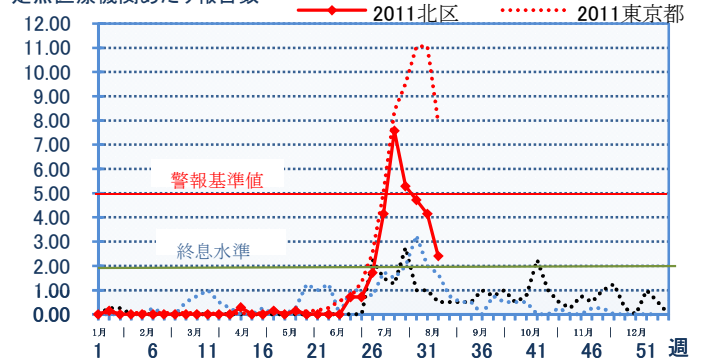
..... 2009北区 2010北区
—●— 2011北区 2011東京都



■ 手足口病

定点医療機関あたり報告数

..... 2009北区 2010北区
—●— 2011北区 2011東京都



■ 伝染性紅斑

定点医療機関あたり報告数

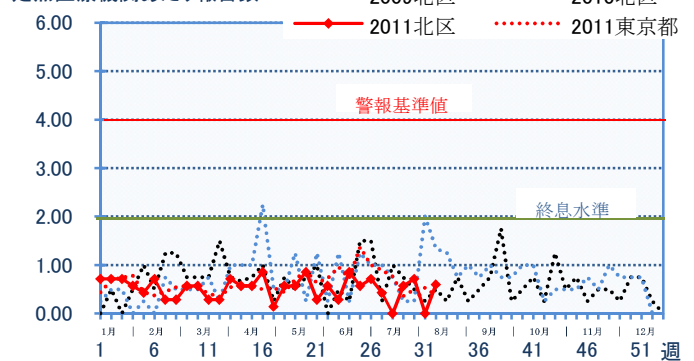
..... 2009北区 2010北区
—●— 2011北区 2011東京都



■ 突発性発しん

定点医療機関あたり報告数

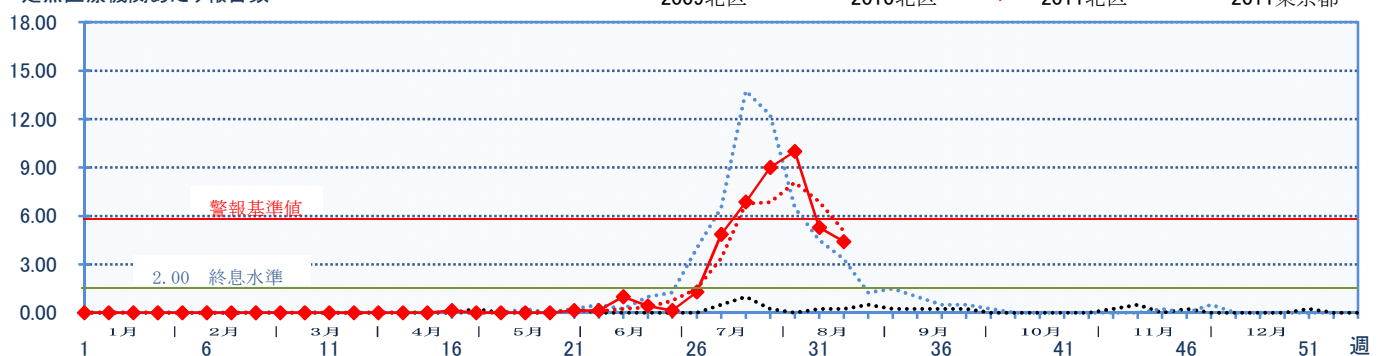
..... 2009北区 2010北区
—●— 2011北区 2011東京都



■ ヘルパンギーナ

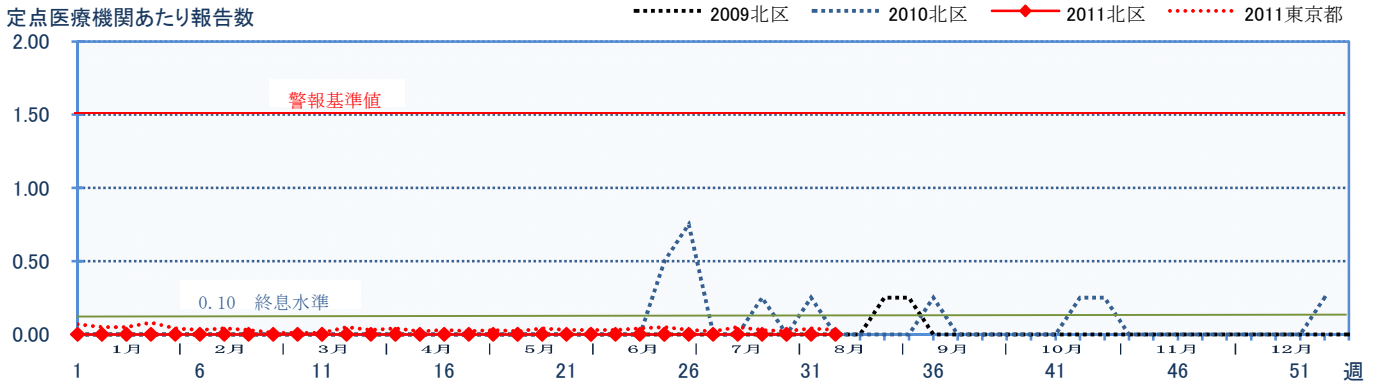
定点医療機関あたり報告数

..... 2009北区 2010北区 —●— 2011北区 2011東京都



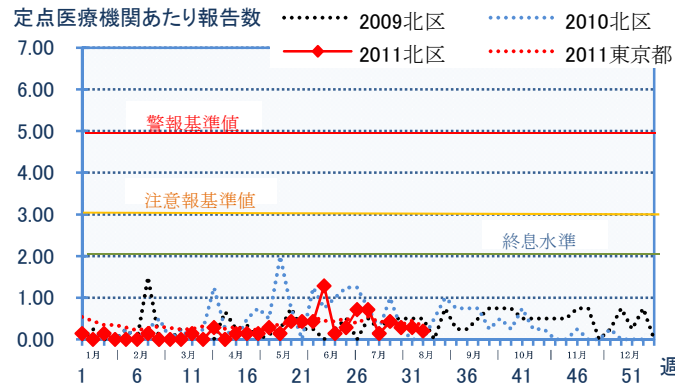
■百日咳

定点医療機関あたり報告数



■流行性耳下腺炎

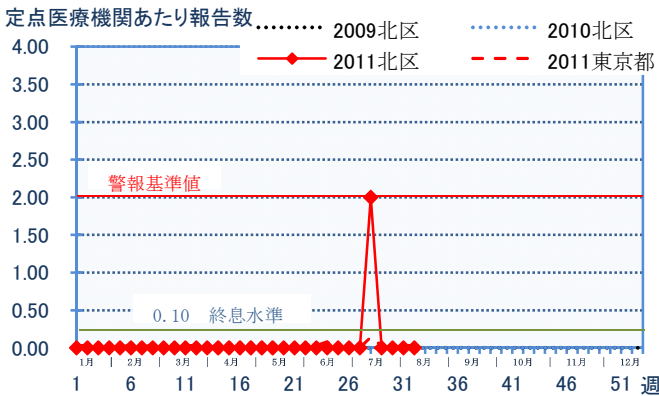
定点医療機関あたり報告数



VI-4 眼科定点

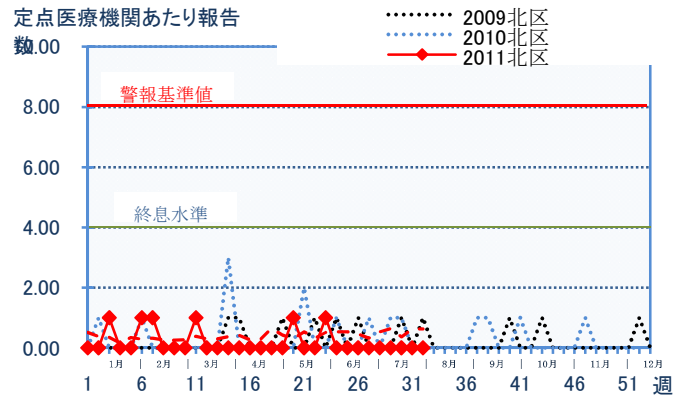
■急性出血性結膜炎

定点医療機関あたり報告数



■流行性角結膜炎

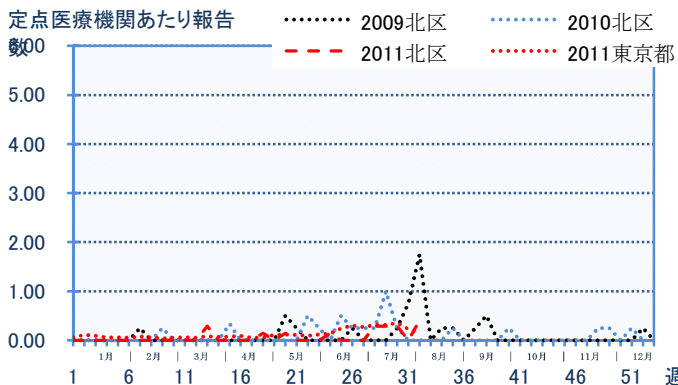
定点医療機関あたり報告数



VI-5 東京都独自指定疾患

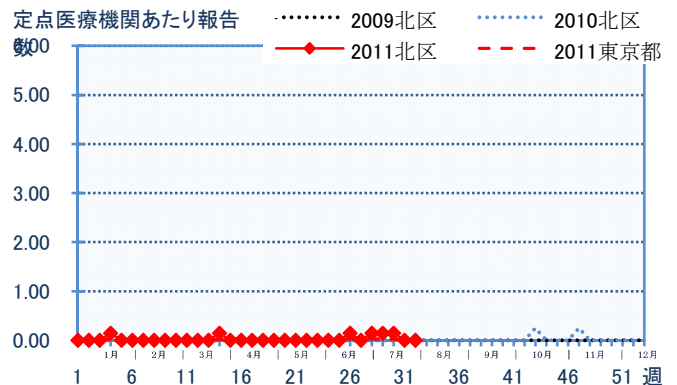
■不明発しん症

定点医療機関あたり報告数



■川崎病

定点医療機関あたり報告数



定点感染症(月報告)

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までが掲載されています。

月報告がされた段階で、適宜更新いたしますので、該当週をご参照ください。

※2011年8月分は第36週にて公開予定です。

I 直近4ヶ月間の性感染症報告数

対象疾患	定点医療機関数	2011年							
		4月		5月		6月		7月	
		報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点
性器クラミジア感染症	1	0	0.00	1	1.00	2	2.00	0	0.00
性器ヘルペスウイルス感染症	1	1	1.00	0	0.00	0	0.00	1	1.00
尖圭コンジローマ	1	2	2.00	2	2.00	3	3.00	2	2.00
淋病感染症	1	0	0.00	1	1.00	0	0.00	0	0.00
トリコモナス症(注)	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
梅毒様疾患(注)	1	0	0.00	0	0.00	1	1.00	0	0.00

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

II 過去12カ月の性感染症報告グラフ

